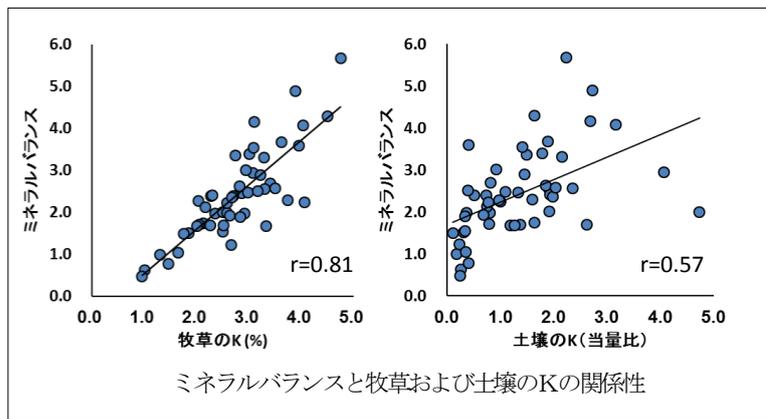




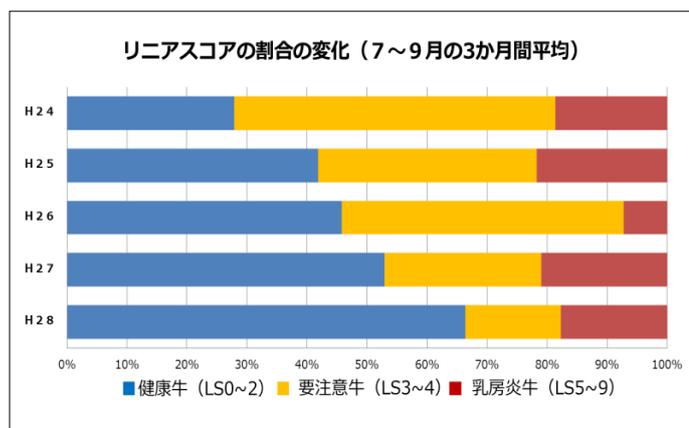
その結果、オーチャードグラスやリードカナリーグラスを主体に生産している草地では、ミネラルバランスの崩れた牧草が多く、カリウム(K)も高い傾向にありました。また、ミネラルバランスには牧草や土壌のKと正の相関関係が認められました。さらに研究を進め、飼料分析値から肥培管理に関連する成分を特定し、牧草の品質向上を目指します。



「酪農研究部における乳質改善の取組み」 眞鍋典義 研究員

近年、生乳生産現場において安全安心な良質乳を供給するための取組が進んでいます。当所では体細胞数10万個/ml以下を目指して、搾乳方法の見直し、牛群の2群管理、過搾乳の禁止などの乳房炎対策を実践しており、その概要や経過を紹介しました。

対策の結果、平成28年度上半期において、バルク乳体細胞数が10万個/ml前後で推移しています。また、体細胞数を対数変換したリアスコアにより評価したところ、牛群の健全性が進展していることが確認されました。



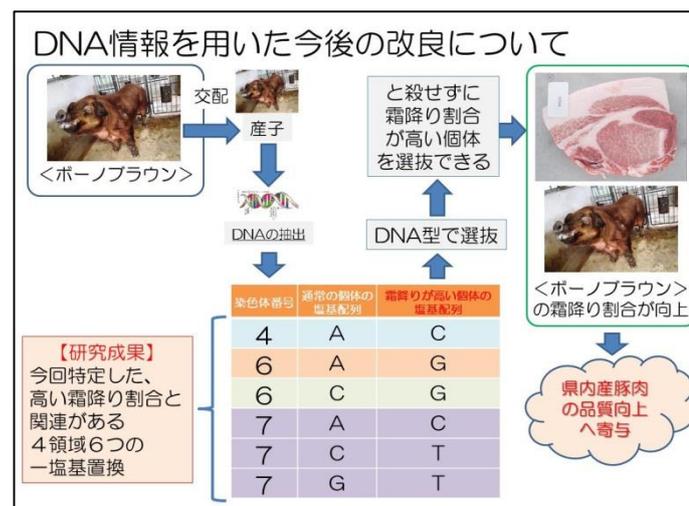
養豚・養鶏研究部

「種豚「ポーノブラウン」の現状と今後の改良について」 吉岡豪 主任専門研究員

当所では輸入豚肉と差別化し県産豚肉の消費拡大を行うため、平成21年に豚肉の霜降り割合を増加(+1.2ポイント)させる遺伝的な能力を保有するデュロック種豚、ポーノブラウンを開発しました。

今回、このポーノブラウンの普及状況を報告するとともに、新たに高い霜降り割合と関連がある染色体領域を4領域特定し、それらの領域内に6つの特異的な一塩基置換を検出しました。

今後はこれらの成果を用いてポーノブラウンを育種改良し、高品質な県内産豚肉の生産に寄与します。

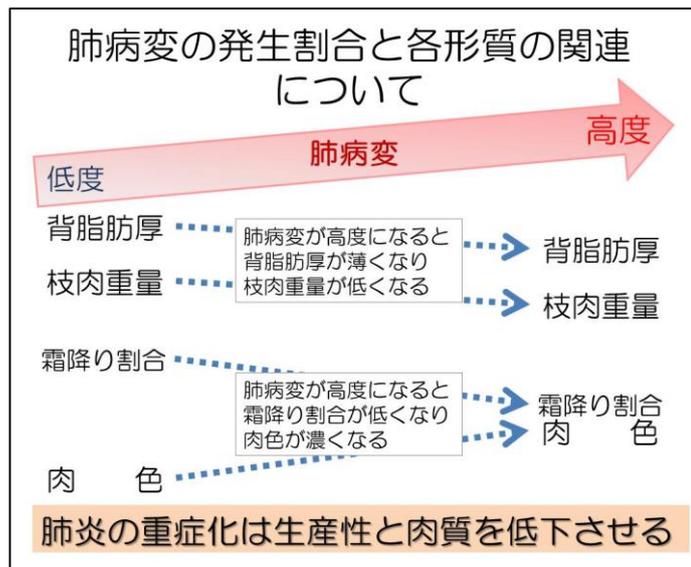


「豚呼吸器疾患が枝肉成績および肉質に与える影響」 鈴木香澄 研究員

豚の呼吸器疾患は生産性を低下させることが知られています。一方で枝肉成績や肉質も重要な形質ですが、呼吸器疾患が与える影響は知られていません。

今回、と畜場において肺病変を評価し枝肉成績や肉質との関連を調べた結果、肺病変の発生割

合が増加すると背脂肪厚が薄くなり、肉色が濃くなることがわかりました。また、肺病変の程度を評価した調査から、肺炎が重症化すると枝肉重量が減少し、霜降りが入りにくくなることもわかりました。したがって呼吸器疾患へ対応することは、肉質の向上にも繋がると考えられます。引き続き、他の疾患と枝肉成績や肉質との関連についても調査し、より良質な豚肉を生産する技術開発を推進します。

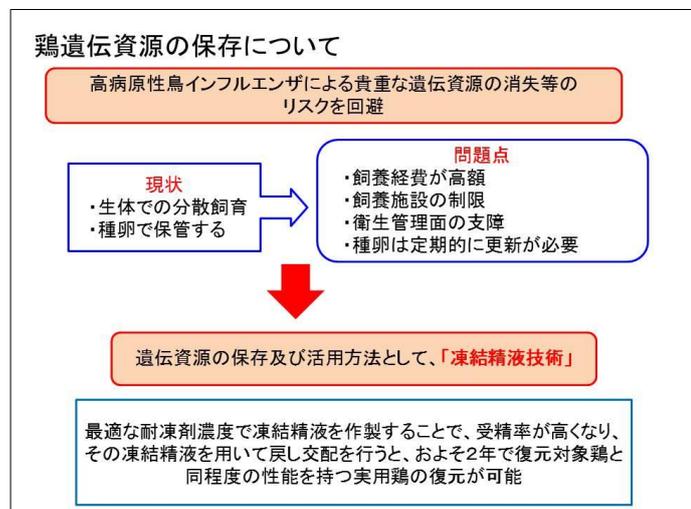


### 「凍結精液による鶏遺伝資源の保存及び活用技術の開発について」

石川寿美代 主任専門研究員

高病原性鳥インフルエンザが発生した場合に国産原種鶏等の貴重な遺伝資源が消滅してしまう可能性があるため、優良遺伝資源の保存および復元技術の開発が必要になります。遺伝資源が消滅してしまった時、凍結精液を用いて短期間で効率良く復元するためには凍結精液の受精率を向上させることが必須です。

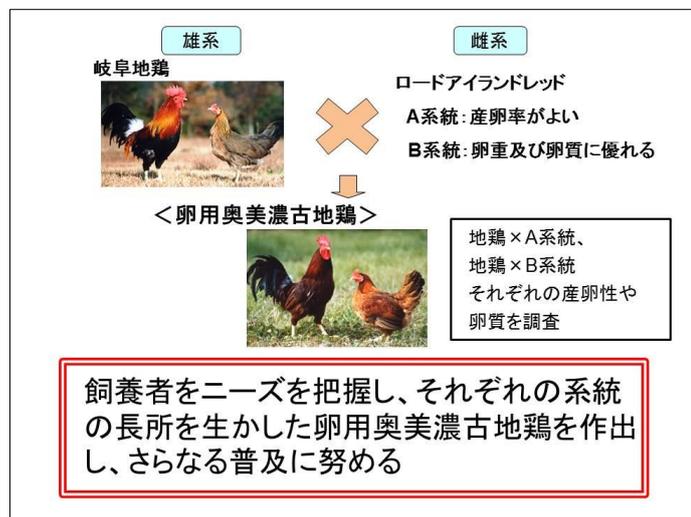
そこで、今回は凍結精液の受精率の向上を目指し、耐凍剤濃度について検討を行ったところ、鶏種や系統によって最適な耐凍剤濃度に違いがあることがわかりました。また、凍結精液を用いた戻し交配による実用鶏の復元では、およそ2年で復元対象鶏と同程度の能力を持つ実用鶏が復元可能であることが実証されました。この研究成果をもとに当研究部で育種改良、維持を行っている系統の凍結精液を最適な耐凍剤濃度で作製し、高山市にある飛騨牛研究部で管理・保管を行っています。



### 「卵用奥美濃古地鶏の普及促進の取組み」 河合恒祐 主任研究員

当所では岐阜地鶏(以下地鶏)とロードアイランドレッドを使用して卵用奥美濃古地鶏を生産しており、その鶏卵は地域における銘柄鶏卵として位置付けられています。ロードアイランドレッドにはA及びB系統があり、A系統は産卵率がよく、B系統は卵重及び卵質に優れるといった特長があります。

現在は飼養者からの「個数を多くほしい」という要望に応じて、A系統を採用していますが、地鶏×B系統はハウユニットが高いため、生食利用の多い地鶏卵に適した系統であると言えます。消費者のニーズは変化



していくため、今後も飼養者のニーズを把握し、それぞれの系統の長所を生かした卵用奥美濃古地鶏を作出し、さらなる普及に努めます。

## お知らせ

### 現場後代検定枝肉研究会の開催予定

飛騨牛研究部

種雄牛候補牛の産肉能力検定に係る枝肉研究会の今年度の開催予定はつぎのとおりです。

慶清福 平成29年2月9日(木)

景鶴7 平成29年4月

岐阜県畜産研究所

〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞4393-1

Tel0577-68-2226 Fax 0577-68-2227

ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>